

あかねがくぼ かよ子

プロフィール

都議会議員（二期目）。慶應義塾大学大学院・健康マネジメント研究科講師。都民ファーストの会 東京都議団 副政務調査会長。厚生委員会委員長。社会福祉審議会、児童福祉審議会委員。1975年生まれ。杉並区在住。東京大学卒業後、ベンチャー、大手IT企業にて事業戦略、業務改革、マーケティングに従事。ワークライフバランス、働き方改革、起業支援などの活動にも尽力し、2017年より現職。

都民ファーストの会東京都議団の令和6年度予算提案が多数反映されました。

あかねがくぼ（都議）は第1回定例会の一般質問にて、杉並区民に関連する施策を確認し連携を訴えました。

都民ファーストの会 東京都議団は

所得制限のない本気の子育て・教育政策を推進！

来年度予算で3つの
所得制限撤廃を実現！私立中学
10万円助成所得制限撤廃私立高校
授業料実質無償化支援都立高校・都立大学
授業料無償化へ誰もが安心して
教育を受けられる東京へ

都民ファーストの会東京都議団はこれまでも所得制限がない産前産後の家事育児支援や、赤ちゃんファースト事業、月5000円支給の018サポート等について、小池都知事に要望して実現してきました。令和6年度からはさらに推進します。

教育の質の向上も進めています

全小学校1-3年に副担任を配置

児童へよりきめ細やかな対応ができる教室づくりを進めます

いじめ対策の強化

いじめにも対応できる専門家による支援体制を整備

インクルーシブ支援員の配置

区市町村の小中学校で学びたい障がい児のための支援員配置

フリースクールへの総合支援策

保護者への月2万円支援を継続
スクールへの支援も検討開始へ

全国初！

東京都認証

学童保育

「学童保育の改革へ着手」

学童の課題：希望者が増加しており、待機児童は都全体で3524名、杉並区で280名であり“小1の壁”に。他にも、スペースが狭い（イモ洗い状態の施設も）、サービスの利便性、スタッフの処遇など実態を調査し、都型の学童としてモデル構築。

防災・安心安全政策

100年先も安心を目指して「TOKYO 強靱化プロジェクト」

5分野の危機（風水害、地震、噴火、感染症、電力通信の途絶）への備えを～東京都では100年先も安心な街を実現するため、2040年までにどのように強靱化された東京にするべきかという政策目標を掲げ、5分野の危機への備えをレベルアップさせていきます。

善福寺川流域視察の様子



私たちは緑が持つ治水の力を活用する「グリーンインフラ」による雨水流出抑制政策を提案し実現に向けて推進しています。

杉並区など地元自治体を通して個人住宅等への設置を支援します。

在宅避難に備えられる「東京とどまるマンション」



集合住宅における防災対策が重要

都民の7割が集合住宅に居住

マンションの防災資材100万円分を助成



都独自の防災マンション認証制度「東京とどまるマンション」に登録すると、令和6年度からは防災資材100万円分を東京都が助成します。大型炊き出し器、ポータブル発電機、組み立て式仮設トイレ等が備えられます。

東京独自地域通貨で地域活性化を



地域住民

もっと地域を盛り上げたい

ポイントは地域で使って欲しい！



商店など



区市町村

独自財源で地域通貨システムを作るのは難しい

渋谷区、世田谷区、国立市などでは、独自に地域デジタル通貨を開発し、商店による決済手数料負担分の支援や、ポイント還元による地域経済活性化などが期待されていますが、自治体が独自でシステム開発するハードルが高く、広い普及に至っていません。

TOKYO
地域通貨

東京都でデジタル地域通貨プラットフォーム構築を提案し、実現に向かっていきます。杉並区と連携し、実情に合わせた利用を可能にします。

シニア政策

歩くとポイントがもらえる!! 東京健康ポイント制度の創設

週1-2回8000歩程度歩くことは、シニアの健康増進にとっても有効です。しかしコロナ禍で筋力低下など身体機能が低下している方は少なくありません。

・「歩く」ことで期待できる健康増進効果

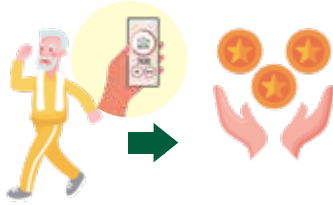
死亡率 **15%** 低下

動脈硬化
脳疾患予防

転倒防止

・歩数に応じてポイント付与

私たちはアプリや歩数計と連動して、歩数に応じて使えるポイント制度の創設を提案し、実現に向かっていきます。



介護職員の賃金 UP を実現へ

超高齢化社会を迎える2025年、日本人口の5人に1人が75歳以上の後期高齢者になります。シニアや障がいのある人を支える介護職が働き続けられる環境を整備することが重要です。東京都の住居費の高さなどの実情を反映して、処遇改善を実現しました。介護職員・介護支援専門員(ケアマネージャーなど)に対して月1-2万円支給制度が創設されます。

認知症見守りサポート制度創設

認知症があるシニアが、徘徊中に行方不明になったり、事件事故に遭う件数が増えています。GPS等を配布して位置情報を介護者に送り、警察が保護するという体系的なサポート制度の創設を実現します。

キャリアと育児(介護)
の両立をさらに!!

時短労働でも管理職を実現

日本では女性就業率は7割増加しているものの、半数が非正規雇用で、管理職の女性比率は先進国最低レベルです。子育て等のために時短勤務をしながらキャリアを築き、管理職を務めることは十分に可能です。女性がキャリアアップを諦めず、**出産や育児も両立するため、さらなる施策が必要です。**

企業へのインセンティブを創設

短時間労働者を管理職として登用した中小企業へ奨励金を支給へ



管理職の女性比率

先進国で最低レベルの登用割合



育児を取得する人の職場“同僚”を支援

女性が社会で活躍するために、男性の家庭での活躍も重要ですが、「代替要員の確保」などを理由に育児取得者は伸び悩んでいます。育児取得者の**“同僚”への手当制度を創設し、職場での育児取得を後押しします。**

東京都では育児を、子どもを育てる尊い仕事と捉え、育児休業を“育児”と呼び、誰もが育児しやすい社会を目指しています。



育児取得が周りに申し訳ない

育児取られると自分に負担がかかる



育児取得者の職場の同僚への手当制度創設で、育児取得をさらに後押し



都議会報告

「一般質問のQ&Aより抜粋」

Q あかねがくぼ

卵子凍結支援

日本は世界一の不妊治療大国だが、30代後半に治療を開始する人が多いため60カ国で最下位の出生率。都民ファが提案し実現した卵子凍結支援について、想定の10倍の応募があった。規模を拡大して実施するところだが、医療機関の質の担保が極めて重要。都としてどのように医療機関の質を担保するのか。

A 福祉局長

卵子凍結への助成事業の医療機関を登録制としており、常勤の生殖補助医療の専門医の配置や、卵子の適切な凍結保管などを要件としている。また卵子凍結を行った方等に対して、医療機関での対応に関するアンケート調査を実施していく。

Q あかねがくぼ

住宅支援

若者や就職氷河期世代が、より安定した就労と経済状態で生活できるよう、家賃の安い都営住宅の空き住戸を活用すべきだが見解は。

A 知事

来年度から就労自立した生活を目指す低所得の若者・中年単身者に対し都営住宅の空住戸を試行的に提供し、フォロー体制も含めた構築に向け取り組む。

Q あかねがくぼ

グリーンインフラ推進

自然の機能を活かした豪雨対策であるグリーンインフラ推進のため基礎自治体の取組を支援すべき。

A 都市整備局長

基礎自治体に対して公共施設や個人住宅等におけるグリーンインフラ設置の支援を行い導入を促進。



あかねがくぼかよ子

都政・都議会についてのご意見・ご要望をお聞かせください

〒167-0051 東京都杉並区荻窪4丁目20-18 2階 info@a-kayo.com

TEL:050-3595-4292 FAX:03-6740-6448 LINE ID @kayoko 検索